

東京サステナブルシーフード・シンポジウム 2019開催 日本の水産業をビジネスからサステナブルに！国内外のリーダー80人が集結！

株式会社シーフードレガシー(代表取締役社長:花岡和佳男、所在地:東京都中央区)は日経ESG(発行:株式会社日経BP、発行人:酒井耕一)と2019年11月7日(木)~8日(金)に、**サステナブル・シーフードに特化した日本最大級のシンポジウム「東京サステナブルシーフード・シンポジウム2019」**を開催します。

業界を超えたサステナブル・シーフードのムーブメントを感じられます！

近年、海洋資源の減少や海洋プラスチック問題が世界的な課題になる中、豊かな魚食文化や海洋生態系を未来に残すべく、水産資源を持続可能に生産・消費する「サステナブル・シーフード」の活動が、国や企業、NGO、地域、消費者を巻き込んで広がっています。「持続可能な調達」を標榜する五輪まで1年を切った今、コンビニやレストラン、企業の社員食堂にもサステナブル・シーフードが増えてきました。本シンポジウムは行政、企業、NGO、研究機関など国内外で第一線で活躍する方をスピーカーとしてお招きし、学び、交流し、ムーブメントを作るイベントです。

今年のテーマ「いよいよ近づく2020年、持続可能な魚から考えるSDGs・ESG経営」

海の環境保全や、サプライチェーン管理、IoTの活用、地域活性化など、様々な課題解決と市場の可能性を内包するサステナブル・シーフードの取り組みは、企業にとってSDGs・ESG経営を進める柱の1つになり、ESG投資家も注目、評価し始めています。そこで今年は世界に誇れる資源管理の在り方や違法漁業を排除する方法を議論するとともに、多様なステークホルダーの協働で企業や町の価値向上に結び付けた例を紹介。ビジネスと海洋環境のサステナビリティを両立させるためのヒントを全34のセッションから探ります。

さらに、日本のサステナブルシーフード・ムーブメントの活性化に貢献した活動を表彰する**第1回「ジャパン・サステナブルシーフード・チャンピオン・アワード」**の表彰式も開催いたします。

スピーカー総勢約80名と日本の水産業の未来を考えます

現段階で決定している今年のスピーカー(一部)です。

神谷崇(水産庁)、宮原正典(水産教育研究開発機構)、大関芳沖(同左)、奥原正明(前農水事務次官)、塚田玉樹(外務省)、小池百合子(東京都)、岩井正人(日本マクドナルド株式会社)、尾崎一夫(セブン&アイホールディングス)、眞々部貴之(楽天株式会社)、喜納厚介(パナソニック株式会社)、山本泰幸(イオン株式会社)、松本哲(日本生活協同組合連合会)、石井幸造(海洋管理協議会(MSC))、Tony Long(Global Fishing Watch)、大野和彦(海光物産株式会社)、Martin Excel(SeaBOS)、Matthew McLuckie(Planet Tracker)、Quentin Hunich(ウーロンゴン大学)など



- 日程: 2019年11月7日(木)、8日(金)(初日は午後のみ)
- 会場: イイノホール & カンファレンスセンター(東京都千代田区)
- 参加: 無料、要事前登録
- 主催: 株式会社シーフードレガシー、日経ESG
- 共催: ウォルトン・ファミリー財団、ディヴィット&ルシール・パッカート財団
- 公式サイト: <http://sustainableseafoodnow.com/>
- 実績: (2018年)登壇者64名、事前登録 約850名、当日参加者 約600名



公式サイト

■本件に関するお問い合わせ

株式会社シーフードレガシー(担当:山岡)miki.yamaoka@seafoodlegacy.com または 080-3550-2920

シーフードレガシーは、海と人をつなぐ象徴である水産物(シーフード)を、豊かな状態で未来世代に継いでいきたい(レガシー)という想いのもと、社会・経済・環境におけるサステナビリティの実現のため、国内外の水産関連企業やNGOをサポートし、両者を戦略的にネットワークし、日本のビジネスに適した解決策を形にする、コンサルティング/プラットフォーム組織です。www.seafoodlegacy.com

■日経ESG

「日経ESG」は、株式会社日経BPが発行するESG(環境・社会・ガバナンス)に関する企業の取り組みや投資家の動向などの最新情報を提供する月刊誌です。国内外のESG政策の動きや、投資家の声、企業の最先端の取り組みをはじめ、SDGs(持続可能な開発目標)の達成に貢献する社会課題を解決する新ビジネス、コーポレートガバナンスなどの最新動向もお届けします。